

令和 4 年度 第 2 回 蕨市 総合教育会議

令和 5 年度
教育事業の概要 (案)



令和 5 年 2 月 7 日
蕨市・蕨市教育委員会

○蕨市教育大綱（抜粋）

Ⅱ 蕨市の教育の目指す姿

基本理念

生きる力を育み
ともに学び
未来を拓く蕨の教育

基本方針

- I 確かな学力と豊かな人間性をもち
たくましく生きる子供の育成
- II 交流の輪を広げる
生涯を通じた学びの支援

基本目標

- ① 学びあい高めあう学校教育の充実
- ② 生涯学習を支える社会教育の充実
- ③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実



学びあい高めあう学校教育の充実

1 少人数学級推進事業（35人程度学級）

- ・ 予 算 額：582万8,000円
- ・ 事業概要：

国・県では、小学1・2・3・4年生において35人学級を実施（令和3年度から5年かけて35人に引き下げる法改正 国：2年生～、県：3年生～）しているが、蕨市では市独自に5・6年生においても35人程度学級を行っている。

これにより、少人数での学習指導・生活指導を行い、低学年からの円滑な引き継ぎを行うとともに、一人一人の児童へのきめ細かな支援の充実を図る。
(担当＝学校教育課)



▲35人程度学級の実施による個に応じた指導

2 教育センターの効果的な運用

- ・ 予 算 額：1,607万4,000円（ICT支援員分を除く）
- ・ 事業概要：

これまでの教育相談、環境改善のための支援、日々草学級・日本語特別支援教室での支援、教職員研修・学校コーディネート事業のほか、G I G Aスクール構想に基づく I C Tを効果的に活用するための教職員研修について一層の充実を図る。

I C T支援員を引き続き配置(次ページ参照)し、教職員の I C T活用指導力を向上させ、児童・生徒の情報活用能力を育成するための研修をさらに充実させていくほか、クラウド上に優れた教育実践に係る資料等を集約し、教職員が必要なときに共有し、個別に研修できる環境の充実を図る。

(担当＝学校教育課)



▲ICTを効果的に活用するための教職員研修

3 学校における ICT の効果的な活用（ICT 支援員の配置）

・予算額：990万円

・事業概要：

令和2年の12月末日に、全児童・生徒への1人1台のPC端末等の整備を完了し、2年が経過した。教職員が授業等においてICTを効果的に活用できるよう、ICT支援員等による、専門的な研修を実施しているほか、蕨市の教職員ポータルサイト上で、マニュアルや研修動画、ICTの効果的な活用事例等を共有し、教職員がいつでも自分のペースで研修を進められる体制を整えることで、研修の充実を図っている。



▲ICT支援員による教職員研修

令和5年度も引き続きICT支援員を配置し、授業や校務、教職員研修等、学校における教職員のICTの活用支援をとおして、全ての学習の基盤となる資質・能力である児童・生徒の「情報活用能力」の育成を図っていく。（担当＝学校教育課）

4 ALT や英語4技能テストを活用した外国語教育

・予算額：4,216万9,000円

・事業概要：

近年の小学校における外国語の教科化や、中学校においても外国語の授業を英語で行うことを基本とするようになるなどの、外国語教育における大きな変化に対応し、より一層の充実を図るため、全小・中学校へのALT1名の配置を継続する。また、中学校2年生及び3年生には、引き続き英語4技能テストを実施し、教職員研修、GIGAスクール端末を活用した外国語学習を組み合わせた生徒の外国語活用能力の一層の向上を図っていく。



（担当＝学校教育課）

▲英語4技能テストを活用した外国語活用能力の向上

5 通級指導教室の増室（発達障害・情緒障害通級指導教室）

- ・事業概要：

通常の学級において「感情や行動のコントロールがうまくできない」「特定のものに強いこだわりがある」などの理由で学習や集団活動を苦手とする児童生徒に対し、よりよい学校生活が送れるように支援を行う「発達障害・情緒障害通級指導教室」を、入室希望者の増加に伴い、令和5年度は既存の教室を活用し、南小学校に新たに増室する。

南小学校に増室することで、支援を必要とする児童生徒への指導時数を確保し、適切な支援を行う。

(担当＝学校教育課)

6 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置

- ・予算額：698万8,000円

- ・事業概要：

教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を継続して配置し、学校における働き方改革の柱の一つとして位置付け、各種取組とともに効果的な活用を進めていく。同支援員が教員の業務の一部を負担することにより、教職員が児童・生徒と向き合う時間をより多く確保することができる。これにより、教職員の負担軽減及び多忙感の解消、時間外勤務時間の一定の削減を進め、働き方改革を促進していく。

(担当＝学校教育課)

7 水泳指導民間委託

・予算額：530万8,000円

・事業概要：

小・中学校の水泳授業では天候の影響を受け、計画通りに実施できないことや、近年の猛暑に対する安全確保が課題となっている。また、プール施設の老朽化も進んでいるため、児童生徒の安全を確保し、年間を通して計画的に授業実施ができる、民間施設を活用した民間委託方式での水泳授業を小学校1校にて検証実施する。令和5年度の取組を踏まえ、今後の学校プール施設の方針について検討していく。

(担当＝学校教育課)

8 デジタル教材整備・活用事業

・予算額：819万8,000円

・事業概要：

児童生徒一人一人に応じた学びを提供するため、小・中学校において、ICTを活用したデジタル教材を整備する。これにより、児童生徒一人一人の学習状況や学習進度に合った出題による知識・技能の効果的習得・定着を図るとともに、児童生徒の習熟の度合いを含めた学習状況の把握による指導の個別最適化を図る。

また、不登校児童生徒への学びの保障や、プリントの作成・配布・回収・採点等に係る教職員の業務の軽減等、学校におけるデジタル教材の効果的な活用を促進する。

(担当＝学校教育課)

9 学校体育館エアコン整備事業

・予算額：1億2,336万5,000円

・事業概要：

近年の猛暑対策として、学校における教育環境の向上とともに、避難所としての機能を高めるために学校体育館に空調設備を設置するもので、令和3年度から順次設置工事を進めている。

令和5年度は、東小学校と南小学校で設置工事を行うほか、次年度以降の設置に向けて西小学校、中央東小学校、塚越小学校の設計委託を行う予定。

(担当＝教育総務課)

10 コミュニティ・スクール事業の推進

- ・予算額：18万円
- ・事業概要：

学校経営・運営や学校課題に対して、広く保護者・地域住民の皆さんが参画できるよう、令和元年度より東小学校、塚越小学校、東中学校の3学区を1地区としたコミュニティ・スクールを設置している。令和5年度は、第二中学校区の西小学校、北小学校、第二中学校の3校を1地区として設置する。共通した目指す児童・生徒像『自分を大切に思える』子供を育てよう』を具現化するために、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

(担当=学校教育課)



▲学校運営協議会の様子



生涯学習を支える社会教育の充実

1 わらび電子図書館（電子図書館サービス）

- ・ 予 算 額 : 391万3,000円
- ・ 事業概要 :

インターネットを通して、パソコンやスマートフォンなどの自分の端末から読書を楽しむことができる「わらび電子図書館」（電子図書館サービス）を継続する。電子図書館では、図書館の開館時間に捉われることなく、24時間いつでも電子図書の貸し出し・閲覧・返却が可能であり、図書館に来館することなく非接触で利用できることから、コロナ禍における「新しい生活様式」に対応したサービスを実践する。

(担当＝図書館)

2 わらび学校土曜塾

- ・ 予 算 額 : 645万1,000円（県補助金・403万2,000円）
- ・ 事業概要 :

地域及び家庭が連携・協力し、子供たちの自主学習及び体験学習等を通して学ぶ楽しさを教え、学習習慣の定着及び基礎学力の向上を図ることを目的とし、子供たちの自主学習（宿題、課題等）の支援や、体験学習等を行う。土曜日に小学校施設を使用し、運営は各小学校校区に設置した実行委員会で行い、元教員や大学生、地域の方がスタッフを務める。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲わらび学校土曜塾(写真は西小学校校区体験教室)

3 音楽によるまちづくり

- ・ 予 算 額 : 325万円
- ・ 事業概要 :

音楽を中心とした蕨市の芸術文化の振興と、その推進を図るとともに、音楽により蕨のまちの魅力を発信することで賑わいを創出し、蕨市のイメージアップを図ることを目的とする。令和5年度も引き続き、「蕨市民音楽祭の開催」をはじめ、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」を予定。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲蕨市民音楽祭(令和4年8月27日開催)
音の架け橋～スペシャルジョイントコンサート
(写真は蕨高吹奏楽部)

4 市民や社会教育関係団体・PTA等を対象とした人権講演会の開催

- ・ 予算額：44万9,000円

- ・ 事業概要：

さまざまな場面で、人権問題を分かりやすく、また、身近な問題として学習できる事業を展開。お互いを尊重する心を育むことで差別のない社会を実現するために、公民館等を会場として「人権尊重社会をめざす市民のつどい」等の人権講演会を行い、人権教育の推進を図っている。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲令和3年度人権尊重社会をめざす市民のつどい、社会教育関係団体研修会(令和4年2月16日開催)
講師：岩渕幸洋選手(パラ卓球男子日本代表)



どこでもだれもが親しめる 生涯スポーツの充実

1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

- ・ 予 算 額 : 319万8,000円
- ・ 事業概要 :
毎年恒例となっている市民ロードレース大会や市民水泳大会のほか、体力テストや少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業等を実施し、健康・体力づくりに親しめる機会を提供する。
(担当=生涯学習スポーツ課)



▲令和元年度 SOMPOボールゲームフェスタ

2 女子サッカー教室の開催

- ・ 予 算 額 : 150万円
- ・ 事業概要 :
女子サッカー応援の一環として、女子児童対象の大会出場も想定とした「サッカー教室」を実施し、気運の醸成を図る。
(担当=生涯学習スポーツ課)



▲令和3年度 さよなら私のクラマーキックオフイベント

※一部の事業については、コロナ禍以前に撮影した写真を使用しています。